

手紙×水 = 観音様とつながる

もくじ

1. 清水寺のいま
2. 観音様への手紙
3. 手紙を出す行為の詳細
4. 実際に体験して
5. まとめ

1. 清水寺のいま

Q. 清水寺のイメージは？

清水寺といったら・・・



撮影：山下

有名になりすぎた？

「清水の舞台」

- ▶ 京都といったら清水寺！行ってみよ！
- ▶ 舞台からの景色やっぱきれい！
- ▶ この景色を背景に写真撮ろ！
- ▶ 良い感じに映えたしインスタ載せよ。
- ▶ 次の所に行こ！
- ▶ とりあえずの清水寺？
- ▶ 展望台と思ってる？
- ▶ 写真もいいけど観音様は？
- ▶ インスタの材料ではないよ？
- ▶ 観音様は？

止まらない観光地化

- ▶ 日本人観光客実態調査「訪問地」 (pp.55)

[京都駅周辺50.4%、清水祇園周辺47.7%、河原町三条・四条周辺32.4%]

- ▶ 外国人観光客事態調査「訪問地トップ25」 (pp.66)

[清水寺62.7%、二条城56.4%、伏見稻荷大社50.8%]

このままでは清水寺はどうなる！？

- ▶ 「映え」のためのスポットになってしまう
- ▶ 「清水寺 = 舞台からの景色が壮大なだけのお寺」になってしまう
- ▶ 100年後には今の清水寺の姿が残っていない可能性もある

⇒この危機を防がなければいけない！！

とはいえ、

常軌を逸脱しない限り、人の楽しみ方に口出しはできない

しかし、

それぞれの楽しみ方をこちらが誘導することはできる！

どうやって誘導する？

手紙で観音様と交流する機会を提供する

2. 観音様への手紙

手紙に注目した理由

- ① 清水寺の宗教観に触れてもらう
- ② 気持ちを伝える場として、清水寺を心の拠り所としてもらう
- ③ 心の拠り所は清水寺自体ではなく、観音様にこそあると認識させ、観音様の内在化を果たしてもらう

しかし参拝者と観音様が繋がる（観音様の内在化が発生する）ことは、ハードルが高い

⇒手紙は、相手と繋がるツールである

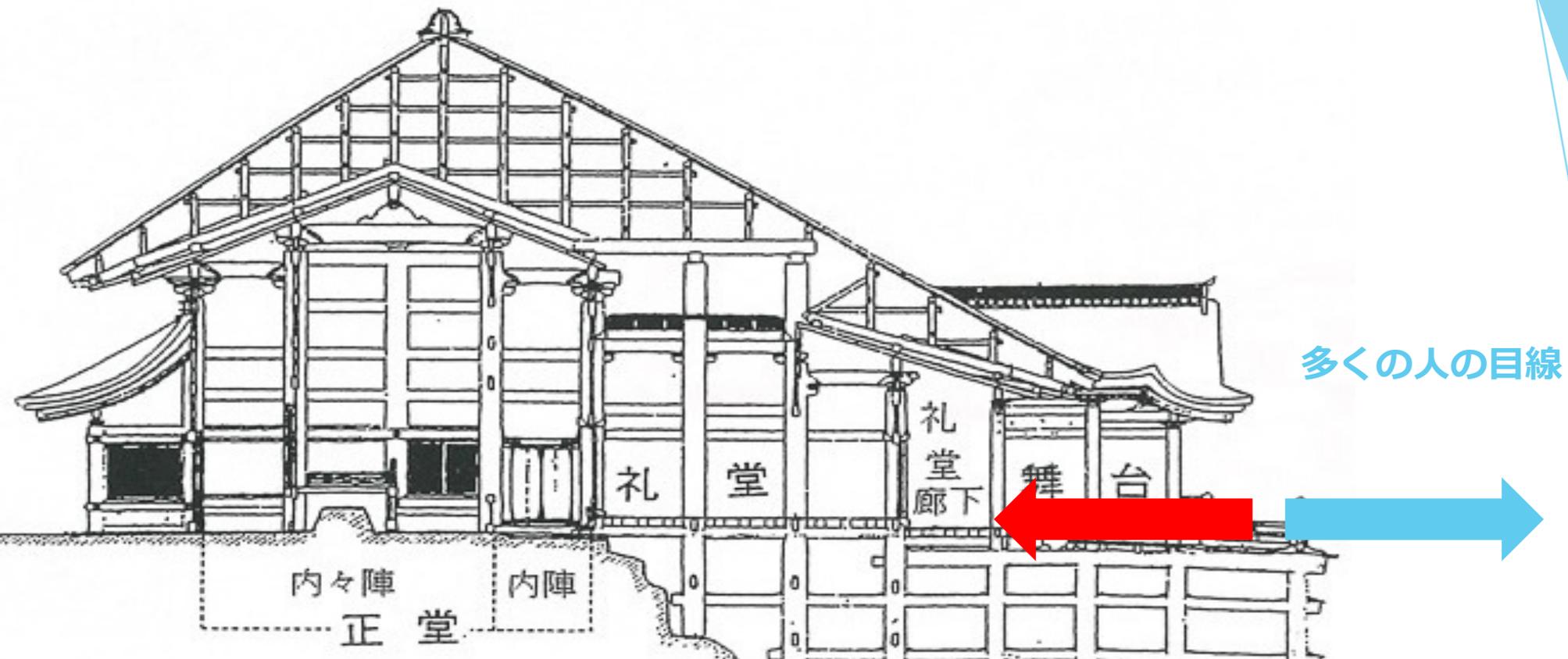
手紙に注目した理由

清水寺の本来の姿とは？

- ▶ 舞台は、観音様に舞いや音楽などを「奉納」する場所であり、舞台から内陣に向かってそれらを奉納するのが自然な形である
⇒現在は本堂参拝の通路である以上それが難しい
- ▶ 観音様は人々の声を聴き、救いを与える存在である

⇒私たちの気持ちを手紙に表し、それを観音様に「奉納」することで、自然な形で観音様の方向を向くことができ、本来の姿に近づけることができるのでは？

(書いた手紙をポストに入れる = 「奉納」する)



**舞台の機能上の視線の在り方
(目指す視線の方向)**

手紙を奉納する視線

想定されるメリット

- ▶ 参拝者にとって清水寺が自分の気持ちを聞いてもらう場所になり、**心の拠り所**となる
 - ▶ 参拝者は観音様とのつながりを感じることができる。
 - ▶ 参拝者は舞台の上で景色だけでなく内陣に注目するようになる
 - ▶ 観光目的の人が清水寺の宗教観により触れやすくなる
- ⇒観光目的の人でも清水寺のファンになってもらえる
- ⇒手紙での交流であるためリピーターの獲得にも繋がる

3. 手紙を出す行為の詳細

手紙を出す手順(概要)

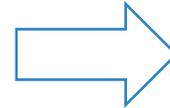
- ① 手を清めて入場する(通常通り)



- ② 入り口付近に書く用スペースを
設けて手紙を書いてもらう



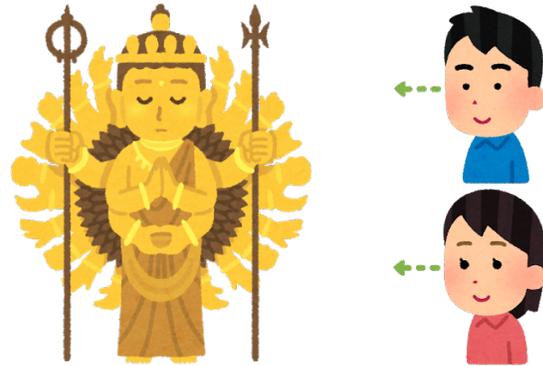
- ③ 舞台に設置したポストに見立てたもの
に手紙を投函し、かき混ぜる



④ 観音様に向かって祈る



⑤ 観音様の方向に意識が向く



- ▲ 観音様を意識することによって舞台からの景色も違った感想になる
- ▲ 将来的に「観音様がいる清水寺」になる

手紙を出す手順(概要)

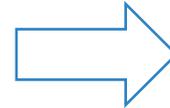
- ① 手を清めて入場する(通常通り)



- ② 入り口付近に書く用スペースを
設けて手紙を書いてもらう

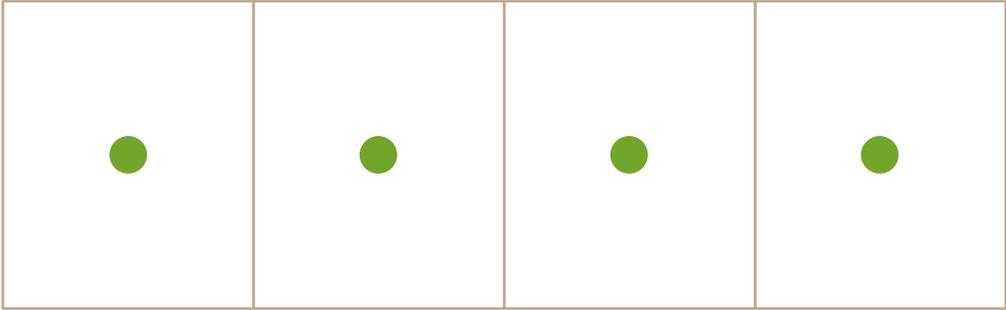


- ③ 舞台に設置したポストに見立てたもの
に手紙を投函し、かき混ぜる

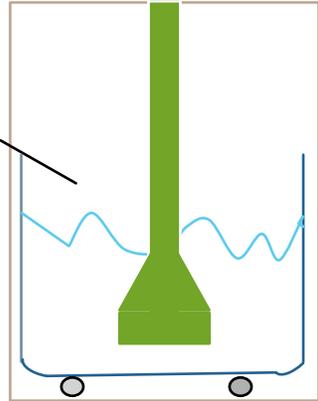
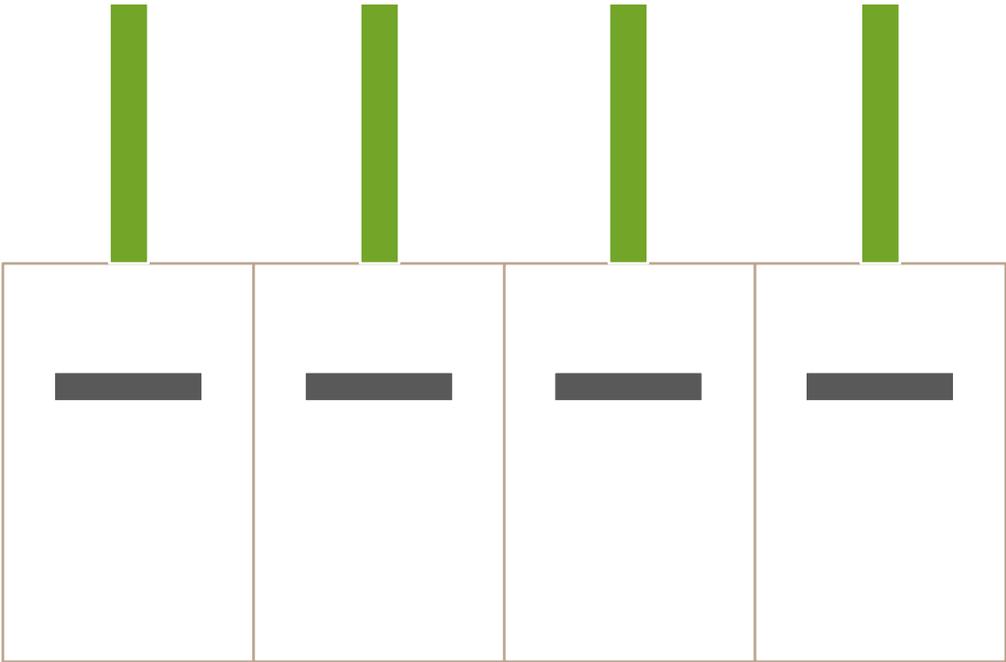


ポストに見立てたものの提案(イメージ)

(上面)



(正面)



(右側面の断面)

手紙と水と観音様の繋がり

書いた手紙を水（観音様の化身)¹に溶かす

⇒観音様に手紙を直接見てもらうということ

1. 音羽山 清水寺「観音様と、水-清水寺の読み物」

<https://www.kiyomizudera.or.jp/read/%e8%a6%b3%e9%9f%b3%e3%81%95%e3%81%be%e3%81%a8%e3%80%81%e6%b0%b4>

4. 実際に体験して

手紙の内容（例）

メンバー3人が実際に書いてみました

書き方も自由に、気持ちを素直に文字にして書くのがおすすめ。

- ① 自分は頭が悪く、物事の善し悪しの区別が苦手でした。そのため、中学生の時クソでした。それから自分の中で立ち直ろうと思ったきっかけが親のおかげです。今でも親に感謝しています。
- ② 変わろうとしても、たいして変われない現状をどうにかしたい。やろうやろうと思っても、何かと理由をつけて後回しにするし、やったとしても、そこで満足して次に繋がらない。進歩がない。死ねばいいのにとと思う。時間は有限で、どう過ごすかでその質を変えていく事を知っているのに、どうにも無駄にしてしまう。
- ③ ギリギリまで本気で取り組めない。コツコツとやっていけない。暇があれば寝ている。自発的に動けるようになった。スケジュールを管理するようになった。学校がない日にも自習室に籠るようになり、学ぶ作業する時間が増えた。

書いてみた感想

好き勝手書いたので
意外と書いてスッキリした

- ① 親に対しての感謝の気持ちを再確認することができた
- ② 分かっているけど変わらない現状を嘆くものになったが、実際に書いてみると、変わっていない事もあるが、変わり始めている事もあることに気が付いた
- ③ 実際に文字にすることで自分の気持ちを整理することができて、むやみに悩んでいたことに解決の道が現れた

書いて気付いたメリット

- ▶ 人の目を気にせずに思った内容を素直に書ける
- ▶ 絵馬と違って匿名性がある
- ▶ 詳しい現状を観音様に伝えることができる
- ▶ 自分の気持ちを手紙という形で文字に起こしてみることで自分と向き合えるきっかけになる

5. まとめ

国籍問わず、年齢問わず体験できる
手紙×水での観音様との交流によって観音様の存在を認識し

観音様のいる清水寺が**心の拠り所**になり
舞台からの目線も景色だけではなく観音様の方に向き

清水寺は**景色が売りの観光地ではない**
本来あるべき姿を取り戻すでしょう

ご清聴ありがとうございました